

歯科医学概論 担当講座（分野）：歯学部専門教育担当教授、他

第1学年 前期・後期	講義	演習	実習
	前期	22.5 時間	9.0 時間
	後期	6.0 時間	58.5 時間

一般目標（講義）

歯科医学は医学の一分野であるとともに、口腔領域、口腔疾患の独自性・特殊性の故に独立した領域を形成している。それゆえ、医学・歯学についての幅広い知識・技能、および問題抽出・解決能力に裏打ちされた自己開発能力が必要となるが、さらに、歯科医師となるには口腔保健・歯科医療の専門職としての必要な基本的態度を身につけることが必須となる。歯科医学概論を通じて、これから学ぶ歯科医学・医療の本質を正しく理解するとともに、歯科医学を学ぶ意欲と歯科医師としての基本的態度を身につける。

講義日程

場所：(矢) 西 1-E 講義室

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月15日(月) 4限	三浦廣行歯学部長	歯学概論	1. 歯科医学の領域と役割を説明できる。 2. 歯科医師の心構えを理解する。
5月13日(月) 4限	原田英光教授 (研究推進委員長)	研究のこころ 生命科学の一分野としての歯科医学における研究の意義を理解すると共に、歯科医師にとって研究を通じて得られる科学的思考力の重要性について理解を深める。	1. 歯科医学における研究とその意義について説明できる。 2. 知識・技術と科学的思考力の関係について説明できる。 3. 歯科医師にとっての研究マインドについて説明できる。
5月20日(月) 4限	杉山芳樹教授 (歯科医療センター長)	歯科医療センターの役割 歯科医療センターの診療システムと歯学教育・地域医療における役割について理解する。	1. 歯科医療センターの診療システムの概略を説明できる。 2. 歯科医療センターの役割の概略を説明できる。 3. 歯科医療センターと地域医療システムとの関わりを説明できる。
5月27日(月) 4限	米満正美 前教授 (非常勤講師)	健康と歯科医療 ヒトの健康とは如何なるものか、健康にとって歯科医療の果たす役割について理解する。	1. 健康の概念を理解する。 2. 健康を維持するために必要な事項について理解する。 3. ヒトの健康にとって歯科医療の果たす役割について理解する。
6月3日(月) 4限	岸光男准教授 (予防歯科学)	問題発見・解決能力 自ら課題を見つけ、自分で学習するという自学自習について	1. 自学自習ということ、および、その具体的実践方法について理解する。 2. 自学自習の習慣を身につけることの意義について理解する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
		て理解し、その実践方法、習慣について理解を深める。	
6月10日(月) 4限	佐々木勝忠講師 (非常勤講師)	地域歯科医療とチーム医療 地域医療の一員としての地域歯科医療の役割を理解する。	1. 開業歯科医院の役割を説明できる。 2. 患者への配慮ができる。 3. 地域との連携を説明できる。 4. 他職種との連携の重要性を説明できる。
6月14日(金) 3限	遠藤寿一准教授 (哲学分野)	医の倫理 生命倫理、医の倫理についての理解を深め、歯科医師としての倫理意識を深める。	1. 医の倫理と生命倫理の歴史的経過と諸問題を概説できる。 2. 医の倫理に関する規範・国際規範(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言)を概説できる。 3. 生と死に関わる倫理的問題を説明できる。
6月17日(月) 4限	藤澤美穂助教 (心理学科)	ストレスマネジメント(1) ストレスのメカニズムについて理解する。	1. ストレスプロセスモデルについて説明できる。 2. ストレス反応について説明できる。 3. ストレスコーピングのバリエーションについて理解する。
6月21日(金) 3限	藤澤美穂助教 (心理学科)	ストレスマネジメント(2) 自分自身についての理解を促進するとともに、ストレスマネジメント概念の理解を通し、セルフコントロールへの意識を高める。	1. ストレスマネジメント教育の一次予防的意義について説明できる。 2. 学生生活サイクルを理解する。 3. セルフコントロールの手がかりをつかむことができる。
6月24日(月) 4限	櫻井滋准教授 (睡眠医療学科)	災害医療の意義 災害医療の意義について理解を深めるとともに、歯科医師の役割について意識を高める。	1. 災害医療について理解する。 2. 災害医療における歯科医療の意義について理解する。
6月28日(金) 3限	金子克名誉教授	介護保険施設における歯科医療 介護保険施設の役割、歯科医師のはたす役割について理解する。	1. 介護保険法を説明できる。 2. 介護保険施設を分類できる。 3. 介護保険施設の目的を説明できる。 4. 介護保険施設と歯科医療の関わりを理解できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月1日(月) 4限	城茂治教授 (歯科麻酔学)	救急蘇生法 救急蘇生の意義について理解し、必要な時に適切な処置について理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の意識を確認できる。 2. 気道の確保ができる。 3. 口対口の人工呼吸ができる。 4. 体外式心マッサージができる。 5. AED を操作できる。
7月5日(金) 3限	諏訪部章教授 (臨床検査医学)	歯科医療における臨床検査の意義 一般歯科診療では、さまざまな基礎疾患を有する患者が来院する。それらを診断し病態を把握する上で必要な臨床検査の意義について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床検査に必要な検体採取、検査の実際、結果の見方を説明できる。 2. 糖尿病、脂質代謝異常症、ウイルス性肝炎など重要な基礎疾患と代表的臨床検査について述べるができる。
7月8日(月) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	インフォームド・コンセント 歯科医療を行う際に欠くことのできないインフォームド・コンセントについて理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. インフォームド・コンセントを説明できる。 2. インフォームド・コンセントに際して、歯科医師が行うべきことを説明できる。 3. インフォームド・コンセントの重要性を説明できる。 4. インフォームド・コンセントが不十分な際に生ずることを説明できる。
7月12日(金) 3限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	看護・介護における口腔衛生の意義 看護・介護における口腔衛生の意義と歯科医師の役割について理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者、障害者における口腔衛生の意義を理解する。 2. 看護、介護施設における口腔衛生の実際を理解する。 3. チーム看護、介護における歯科医師の役割を理解する。
9月9日(月) 4限	中村千賀子講師 (非常勤講師)	コミュニケーションの基本講習 コミュニケーションの意義と、歯科医師にとって必要なコミュニケーション能力についての理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロフェッションを理解できる。 2. 医療の使命について説明できる。 3. コミュニケーションを理解し、実施できる。 4. 自己紹介ができる。 5. 体験学習の目標を理解できる。
9月13日(金) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	コミュニケーション コミュニケーションの意義と、歯科医師にとって必要なコミュニケーション能力につ	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションについて説明できる。 2. 良好な患者-歯科医師関係，ラポールを理解する。 3. ラポール構築に必要なコミュニケ

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
		いての理解を深める。	ーション能力について理解する。 4. コミュニケーション能力向上に向けた取組みを列挙できる。
9月20日(金) 2限	田中光郎教授 (小児歯科学)	看護・介護体験実習について 看護・介護体験実習の意義について理解する。	1. 看護、介護の実際を知る。 2. 患者さんや障害者の方の不安や苦しみを感じる。 3. 医師、歯科医師、看護師によるチーム医療を知る。 4. 高齢者、障害者に対する医療、社会保障の問題を考える。
9月30日(月) 4限 (医歯合同)	及川吏智子看護部長	看護体験実習ガイダンス 看護の意義について理解し、歯科医師との関わりについて理解を深める。	1. 看護の定義を説明できる。 2. 看護職の業務を説明できる。 3. 看護の重要性を説明できる。 4. 看護と歯科医療との関わりを理解できる。
6月14日(金) 4限 6月21日(金) 4限 6月28日(金) 4限 7月5日(金) 4限 7月12日(金) 4限 7月19日(金) 3限	微生物学講座 分子微生物学分野 生理学講座 病態生理学分野 解剖学講座 発生生物・再生医学分野 生化学講座 細胞情報科学分野 解剖学講座 機能形態学分野 薬理学講座 病態制御学分野 病理学講座 病態解析学分野 医療工学講座	演習 歯科医学を学ぶため、歯科医師となるために必要となるスタディースキルを理解し、身につける。	1. 歯科医学を学ぶために必要なスタディースキルを理解する。 2. 歯科医師となるために必要なスタディースキルを理解する。 3. スタディースキルの学習法を理解し、身につける。

■ 一般目標（看護・介護体験実習）

本学歯学部での特色ある教育プログラムの一つである「学外連携教育プログラム」のユニットとして、学外施設との連携のもと、看護・介護体験実習を実施する。6年間の歯科医学教育の最初の段階で、歯科医学・歯科医療の概要を学んできた。看護・介護体験実習では、実習を通じて全人的医療とその意義について理解することを目標とする。

【実習日程】

月 日	担当教員	内 容
10月7日(月)～18日(金) 終日	附属病院病棟	看護体験実習
10月7日(月)～18日(金) 終日	各介護施設	介護体験実習
10月25日(金) 1～3時限	介護体験実習担当教員	看護・介護体験実習発表会

教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書 (ブルーボックス) 1～3巻	D. サダヴァほか著、 石崎泰樹 監訳	講談社	2010年
参	歯学概論	総山孝雄 著	医歯薬出版	1983年
参	歯科保健医療小史	榊原悠紀田郎 著	医歯薬出版	2002年

成績評価方法

講義：出席（小テスト含む） ----- 10%
試験／レポート ----- 70%
スタディスキル演習 ----- 20%
実習：出席 ----- 55%
実習態度評価点 ----- 35%
発表会プレゼンテーション ----- 10%
特別講義 (出席状況とレポート提出により評価し、歯科医学概論講義の成績に加味する。)
講義、実習、特別講義のいずれもが合格点に達することが必要。本科目の最終評価点は講義 50%、実習 50%として算出する。